

第2回 横浜市都筑スポーツセンター指定管理者選定委員会会議録	
日 時	令和8年8月19日（水）14時00分～16時05分
開 催 場 所	都筑区役所5階 第1会議室
出 席 者	石黒委員（亜細亜大学准教授） 志田委員（都筑区青少年指導員連絡協議会会長） 福田委員（中小企業診断士） 森委員（都筑区スポーツ推進委員連絡協議会会長） 横手委員（都筑区連合町内会自治会地域活性部会）
欠 席 者	なし
開 催 形 態	一部非公開（傍聴者なし）
議 題	1 会議の公開・非公開について 2 応募資格等の確認について 3 選定方法の確認について 4 面接審査 5 採点審査（指定候補者の選定）
決 定 事 項	1 応募資格等の確認及び選定方法の確認、並びに応募団体の面接審査におけるプレゼンテーション及び質疑応答部分は公開とし、指定候補者の選定に係る採点審査は非公開とした。 2 公益財団法人横浜市スポーツ協会を指定候補者に決定した。 3 委員会の選定結果について、都筑区長に報告することとした。
審 議 内 容	1 会議の公開・非公開について 応募資格等の確認、選定方法の確認、及び応募団体の面接審査におけるプレゼンテーション及び質疑応答部分は公開とし、指定候補者の選定に係る採点審査は非公開とした。 2 応募資格等の確認について 事務局より応募のあった1団体が当公募の欠格事項に該当しないことを報告した。 3 選定方法の確認について 事務局より採点方法、最低制限基準点及び選定方法についての説明を行った。 4 応募団体の面接審査 【公益財団法人横浜市スポーツ協会】 公益財団法人横浜市スポーツ協会によるプレゼンテーションが行われ、以下のような質疑応答があった。 (委員) 提案書 75 ページにて経費の削減の部分に、節電・省エネについて記載があり、この後の資料でこまめに電気を切る等の記載があるが、今回は省エネ

	というところの部分が該当するのか。 (回答) その通りである。それに加えてペーパーレスを進めているので、紙の使用をまずは減らしていきたいと考えている。 (委員) 経費の削減の方法だが、79 ページの指定管理料の額を見ると、支出は増えていく方向であり、これは物価も上がっているのが当然の方向であるが、内容を見ると実は人件費が5年間上がっておらず、反対に設備管理費と保安警備費の費用が下がっているが、こういった点は大丈夫なのか心配である。 (回答) 人件費のベースアップは区役所と協議しながら進めていく。警備費についてはセコムが入っていて、夜間はセンサー管理していただいております。その継続を行うため、そこまで費用はかかっておらず、下がる方向である。 (委員) 提案書 94 ページに「事業継続計画 (BCP) の策定」とあるが具体的に内容はどのようなものか。BCP は天災、感染症、サイバーセキュリティの三つがあるが、天災とサイバーセキュリティについての事業継続はどのように考えているか。 (回答) 当協会で設定しているのは天災についての事業継続計画。当協会でも共通したものがあるため、全施設共通して運用している。 (委員) 人件費について、スタッフに対する研修もあり、求める能力が年々高くなっている中で、HPでもスタッフの募集を行っているが、時給は最低賃金をわずかに上回る程度である。こうした状態がスタッフのモチベーションに影響を与えることが懸念されるが、他で働く際の時給もかなり上がっている中で、人手不足にはなっていないのか。 (回答) 一部欠けている部分もあるが、今いるスタッフでうまく補っているため、運営に支障は出ていない。時給に関しても当協会でも課題と考えており、他の運営している施設を含めて検討していく余地はある。 (委員) 第三者評価では託児サービスはないとなっているが、近年復活してきているかと思う。託児サービスがボランティアによるものと記載があるが正規の職員ではないのか。 (回答) これまで託児ボランティアという名称のグループの資格保有者に依頼している。ボランティアという名称だが謝金も発生している。対象とする教室を
--	---

	決めており、利用者が教室の利用時間及び前後の時間含めて託児可能である。 (委員) 民間フィットネスクラブとの関係性が面白く、プロの視点が入るのはよいと思う。実際に取り組んでいる方の声はどうか。施設をただ使ってもらうだけではなく、こうした関係性が他の企業にも波及していければよい。 (回答) 現在は準備段階である。指導する接客含めたノウハウがあるため、連携してさらにお客様に対するサービスを充実させたいと考えている。 (委員) 以前、スポーツセンターにおける天井崩落の事故もあったが、けが人は出なかったか。施設の前にスペースがあるので、避難が実施できるとよい。 (回答) 天井が崩落したのは他区の施設である。夜間の為お客様への影響はなかった。 (委員) 健康状態の確認のため、握力測定器や、血管年齢測定器など色々なものがあるが、今施設にあるのは血圧計だけか。 (回答) InBody といって体組成計も用意している。有料だが全身の水分量や筋肉量を計ることができる機器があるので、運動の動機付けになると考えている。 (委員) 個人情報関連で、協会の方針ではなく実際の施設の状況について聞きたい。どのような個人情報を保有しているか、どのように管理しているか。 (回答) 主に教室の参加者の個人情報を保有している。名前・住所・電話番号を基本的には入力しデータ管理をして保管している。紙に記入いただいたものは専用キャビネットへ収納し鍵をかけている。データの管理は施設職員しかアクセスできないセキュリティ状態になっている。 (委員) 災害関連で先日も大雨があったが、施設ではどのような対策をしているか。 (回答) 地震と雨で対応が変わってくるが、地震の場合は利用をやめる、安全確保確認後にお客様の誘導を行う。雨の場合は施設自体が斜面に沿って作っているため、施設の中に水が入ってきてしまう可能性もある。その状況を確認してからお客様の誘導と利用の制限をしなければならないと考えている。 避難については正面の芝生、裏手の第二駐車場があるので一度駐車場に移動していただくということを想定している。
--	--

(委員) 提案書 30 ページに指導者のマッチングとあるが実際の運用状況や活用状況はどのようなものか。

(回答) 都筑区の区民活動センターで実施している「都筑区まちの先生」という制度を紹介している。今のところ相談があったケースはない。

(委員) ストラックアウトなどの貸し出し備品があったが、その後導入したものはあるか。また、こうした備品については、ある程度消耗すると更新が必要かと思う。さらに、昨今ボッチャ等が普及してきている中で備品の整備についてはどう整理しているか。

(回答) 施設も開館して 20 年経過しており、用具も古くなっているため、破損等があれば新しいものへの買い替えを行っている。新しい種目としてはモルックとバグゴーに掛かる備品を新たに購入し、貸し出しを行っている。

(委員) これまでの管理を踏まえて、今の施設の一番の課題と、それを踏まえてこの 5 年間で絶対に実施したいというものがあれば教えてほしい。

(回答) 課題は、定期スポーツ教室において子ども、親子の割合が少ないという点。ティップネスやメガロスと連携して、民間の高品質のサービスを提供できるような形で連携を組み、教室もなるべく新しいプログラムを取り入れる。ハード面については、立地という課題があるが、先ほど提案したシェアサイクルや我々自身が地域に出向くアウトリーチの活動をしていきたいと考えている。シェアサイクルについては、近隣への設置も含めて行政と協議していきたいと考えている。

5 採点審査

面接審査を受けて評価を行い、各委員の評価結果を集計した。

応募団体の評点は次のとおりであり、最低制限基準点の 309 点を超えていることを確認した。

団体名	評点/満点
公益財団法人横浜市スポーツ協会	482 点/615 点

(審査講評)

- ・申請団体については、これまで指定管理者として施設運営に携わってきた実績があり、施設に関する知識や地域に対する理解が深いことは高く評価できる。また、団体としても安定した経営基盤を有しており、安定した施設運営が可能であると

	見込まれる。一方で、事業提案においては、新たな事業展開や発展性を感じさせる提案がやや少なかった点は惜しまれた。 ・今後の運営に当たっては、まず安全対策、災害対策、BCP（事業継続計画）及び情報セキュリティ対策などのリスクマネジメントについて、より具体的な事業計画や運用計画を示し、万一の事態に備えた体制を一層強化していただきたい。 ・広報・PRについては、現在行っている取組に加え、地域とのつながりや学校との連携をより積極的に発信していくことが期待される。例えば、地域の小学校との連携を深め、子どもたちがスポーツセンターを利用するきっかけづくりにつながるような提案があることが望ましい。 ・障害者への取組については、横浜ラポールとの連携について提案があったが、具体的な内容が十分に示されていなかった。地域の障害者や関係団体との連携も含め、スポーツセンターの利用促進につながる働きかけを具体的に進めてほしい。 ・施設の立地条件が利用促進上の課題であることは以前から認識されているところであるが、その課題を前提としたうえで、利用者のもとへ出向くアウトリーチ活動や、新たな利用者層を開拓する具体的な取組について、より積極的な提案が求められる。 ・財務面については、人件費や物価の上昇が続く状況の中で、収支見込みやコスト積算にやや楽観的な部分が見受けられるとの指摘があった。特に賃上げへの対応は避けて通れない課題であり、今後はより現実的で実効性のある財務計画のもとで安定した施設運営を行うことを期待したい。 公益財団法人横浜市スポーツ協会を指定候補者とすることで決定した。 また、選定結果については、都筑区長に報告することとした。
資 料	（資料１）第２回選定委員会タイムスケジュール （資料２）評価・採点方法について （資料３）採点表 （資料４）採点審査について